

佐賀ものづくり

MUSEUM



佐賀の「フルイ」と、「アタラシイ」を見よう！

佐賀錦／飛鳥工房／いわい家具／平田椅子／肥前名尾和紙／肥前びーどろ／ミツゼクラフト／tiki tiki

2009年1月30日[金]～2月1日[日] 午前9時30分～午後5時  
(入館は午後4時30分まで)

お問合せ

佐賀ものづくりミュージアム実行委員会事務局 (佐賀市役所商業振興課内) TEL 0952-40-7106 <http://www.city.saga.lg.jp/>  
九州国立博物館 TEL 050-5542-8600 ご案内時間 午前8時～午後10時 / 年中無休

開催場所：九州国立博物館 〒818-0118 福岡県太宰府市石坂 4-7-2 <http://www.kyuhaku.jp>

主催：佐賀市 企画運営：佐賀ものづくりミュージアム実行委員会

協賛：さがすばた (株式会社 音成印刷) / ぶんぶんテレビ / LABO DESIGN

後援：九州国立博物館 / 佐賀商工会議所

協力：Kyushu Walker / 株式会社 村岡屋 / 株式会社 永池 / 株式会社 ジュリアン企画 / 桜井 株式会社  
GOOD LIQUER / 装衣工楓 / ひろこの書

佐賀ものづくり MUSEUMとは「佐賀らしきところ豊かな 価値ある暮らしのかたち」をコンセプトに、佐賀のモノの“良さ”や“豊かさ”を提案する作品展です。

三回目を迎える今回は、佐賀の伝統的地場産品である佐賀錦、肥前名尾和紙、肥前びーどろ等、歴史ある「フルキ」と、若手作家の作品である「アタラシキ」にくわえ、それらが融合したコラボ作品を展示します。



佐賀錦 1809年～

金・銀・漆の特製の箔紙に切目を入れて経（タテ）として緯（ヨコ）に絹糸を通して織り上げる。全てを手作業によって織上げるため、非常に精緻な技術を要します。

佐賀錦振興協議会事務局  
電話 0952-40-7106



肥前名尾和紙 1699年～

元来山地で農業の生産性も低いことから土地の納富由助氏が修行をし、紙漉の技を名尾の地に伝えました。原料の楮の生産も自家栽培により、受け継がれてきた技法を今も守り続けています。

<http://www.naowashi.com/>  
電話 0952-63-0334



肥前びーどろ 嘉永年～

一切の型を使わず、息の吹き込みとわずかな道具で型を作り上げる技法は、「ジャッパン吹き」とも言われる幻の技です。のびやかな手作りのフォルムには、脈々と受け継がれた伝統と技が生きています。

副島硝子工業 株式会社  
電話 0952-24-4211

## 佐賀の「フルキ」と、「アタラシキ」を見よう！



ミツゼクラフト 1999年～

「格好いいな！面白いな！」の先には、そのモノの根元的な良さを発見することができます。それを基に新たな切り口で自分の「ものづくり」に生かせれば・・・と、思っております。

<http://www.mitsuze.com/>  
電話 0952-56-2836



いわい家具 1976年～

婚礼家具専門店として「祝い家具」は誕生。現在は創作オーダー家具を中心に活動中。人が造れない自然の凄さを感じ、家具を作る上で木の表情を大切に、自然の素晴らしさを皆様にお届けしたいと思っております。

<http://www.iwaikagu.com/>  
電話 0952-47-2696



飛鳥工房 1993年～

自分の娘のためにつくった木馬から飛鳥工房のものづくりは始まりました。子どもの想像力をかきたてる動くおもちゃ、大人の感性をくすぐる真空管アンプとスピーカー。大人も子供も楽しめる空間をご提供します。

<http://www.asukakoubou.com/>  
電話 0952-47-5697



tiki tiki 2006年～

冬にぴったりのフェルトたち。何かを入れて使うモノ、部屋に彩りをくれるモノとして、一つ一つ思いを込めてつくっています。心あったまる、そして笑顔になる、そんなフェルト達です。

<http://e-monodukuri.com/>  
電話 090-1974-2346



平田椅子製作所 1963年～

匠の技と科学的な検証を元に、体になじむ椅子を製作する。和と洋、匠と科学等、製作の概念を越えた椅子創りを目指しています。

<http://www.hiratachair.co.jp/>  
電話 0952-47-6534